

②自然共生

生活環境の整備

道前クリーンセンターの長寿命化および延命化を図るために基幹的設備改良を推進し、ごみの分別区分や、ごみ袋の有料化などを検討します。



ルールを守ったごみ捨てを

①福祉

福祉の充実

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、高齢者の身近な生活圏域に「地域包括支援センター」を設置します。(詳細は28ページ)



センターは市内4カ所に設置

①福祉

健康づくりの推進

がん患者や家族などが安心して日常生活を送れるよう、「がん対策推進条例」を基に市民や関係機関と連携して、がん対策を推進します。



地域ぐるみでがん対策を実施

②自然共生

上下水道の整備

簡易水道事業と西ひうち水道事業を上水道事業に、西ひうち下水道事業を公共下水道事業に統合し、さらなる効率化と経営基盤の強化を図ります。



詳細は3月号13ページを参照

①福祉

子育て環境の充実

子育て世代包括支援センター(ハピ♡すくルーム)を拠点に、引き続き、母子ともに健康で、安心して子育てできる環境づくりを進めます。



妊娠から産後ケアまでサポート

①福祉

福祉の充実

認知症への理解を深める取り組みや、タブレットを使った脳いきいきチェックで「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を推進します。



認知機能の状態を早期に把握

令和3年度 西条市施政方針

共創



市議会3月定例会が3月3日から25日までの23日間の会期で開かれました。昨年11月に2期目のスタートを切った玉井市長。初日に示した新年度の施政方針と、具体的な施策の概要をお伝えします。

象徴的な事業で変革を表現

令和2年度は未来の繁栄に向けて大きく躍動する1年として位置付け「3C(チャンス・チャレンジ・チェンジ)」をキャッチフレーズに「好機を掴み、挑戦し、変革する」ことを意識した種々の施策に取り組んできました。当市を象徴する事業「移住・定住推進施策」では、(株)宝島社の2021年版住みたい田舎ベストランキングで、4部門全てで、全国1位を獲得。各自治体が人口減少でさまざまな対策をする中、まさに当市の施策が好機を掴み、挑戦し、変革することができた代表的なものになったものとうれしく思います。

昨年度の評価と2期目の抱負

「市民主役の西条」の実現に向けては、地域自治組織の設立に向けた取り組みを進めました。今任期は、これまでの流れを引き継ぎ、計画的に取り組みを推進します。また、水・自然・暮らしを守り育てるため、「西条市SDGsの推進」を具現化します。「住みたい西条」の実現に向けては移住・定住推進施策に加え、わくわく健康ポイント制度の創設や

がん対策推進条例の制定などを行いました。

今任期は、総合福祉センターなどのアクアトピア水系について、市民の憩いの場や多世代交流によるにぎわい空間の創出に取り組めます。「夢が持てるまち西条」の実現に向けては、広大なフィールドを生かした魅力ある観光地域の形成と、石鎚クライミングパークSAIJOを拠点とした日本トップレベルの大会や合宿誘致に取り組まれました。今任期はチャレンジを応援するまちづくりやスマートシティ西条の実現に向けた取り組みを加速させ、総合教育会議で改訂した「西条市教育大綱」を踏まえ、次世代を担う子どもたちが光り輝くための教育環境の実現を目指します。「つながり広がる西条」の実現に向けては、デジタルマーケティングなど、シティブロモーションの戦略的なノウハウが一気に実を結び、移住・定住推進などの情報の拡散が可能になったと評価しています。新型コロナウイルスの流行が収束した際には、今後も継続し、台湾との人的交流や経済連携を深化させていきます。「市民と進める行財政改革」の実現に向けては、令和4年度をめどに総合支所の在り方の再編に向け準備を進めます。

これらの諸施策に加え、まずは新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施に向け、国や県、医師会などの関係機関との連携を深めます。

共創のまちづくり

常日頃、「勝ち残るまち西条」の実現を主張してきました。他者を思いやり、チャレンジ精神を忘れない。市民・企業・行政が分け隔てなく、切磋琢磨する。新たな価値を生み出すために前向きに考え行動できる社会。これこそが、真の意味で当市が目指す「持続可能なまち西条」につながります。

今まさに、他者を思いやる気持ちを原点に置き、難局を乗り越えるための一体感を醸成する機会です。今任期のスタートとなる令和3年度は「共創」をキャッチフレーズとして掲げ、コロナ後における地域社会が真の意味で「持続可能な西条市」として発展できるように、今この時間を大切にしながら、市政運営の礎を築いてまいります。

施政方針の全文はホームページに掲載



令和3年度の予算は、歳入水準に見合った歳出構造への転換に向けた「歳出改革」の推進、基金の取り崩しに依存しない自立した持続可能な財政基盤の確立を基本に、編成を行いました。

①健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり

- ▼健康無関心層へ健康知識などを伝える「健康アンバサダー」を養成
- ▼令和4年1月完成を目指して「西条児童館」を整備
- ▼市民全員へのワクチン接種を円滑に実施(詳細は2ページ)
- ▼地域医療寄附講座の開設期間を5年間延長し、市立周桑病院の診療支援および救急医療体制を強化

②豊かな自然と共生するまちづくり

- ▼山林荒廃や生態系破壊の深刻化を防ぐため、経済・社会・環境の全ての側面で持続的に維持できるように、西条市SDGsを推進
- ▼旧西条市対象の「西条市地下水の保全に関する条例」を廃止し「地域公水」の理念を盛り込んだ市内全域を対象とする新条例を制定
- ▼水道水の安定供給のため、ひうち地区に新たな配水池を整備



7 構想実現

西条の価値や魅力の向上

交流と転職・起業など、チャレンジを支援する「ひと・夢・未来創造拠点複合施設（仮称）」の整備を推進します。



こどもの国を複合施設に整備中

6 産業振興

観光産業の創出

(株)モンベルと連携した環境スポーツイベント「石鎚 西条 SEA TO SUMMIT」の開催などを通じ、魅力ある観光地域づくりを促進します。



5月に開催（詳細は14ページ）

6 産業振興

林業の振興

森林整備基金を活用し、森林の多面的機能を十分に発揮できる森林へと誘導することで水・自然・暮らしを守り育てる森づくりを目指します。



人工林の整備

5 教育文化

人権・同和教育の推進

新たに策定した「西条市人権文化のまちづくり基本計画」に基づき、人権文化の根付いた明るく住み良い西条市の実現を目指します。



定期的に市民向け講座も開催

4 安全安心

防災・減災対策の強化

豪雨災害や南海トラフ巨大地震に地域で対応するため、市民が主体となって取り組む訓練、地区防災計画の策定などへの支援を行います。



災害を想定した各地区の訓練

3 都市基盤

港湾・河川の整備

再度被災する可能性が高い河川を対象に「河川改修事業」を実施し、防災インフラの整備を進め、引き続き減災対策に努めます。



平成16年の台風による被害

7 構想実現

地域コミュニティ活動の促進

地域自治組織設立に向けた取り組みを強化し、地域が抱える課題解消に向けた活動を引き続き支援します。



多世代で話し合い（小松地区）

6 産業振興

産業人材・雇用環境

地域企業が抱える課題を解決するコーディネーターを配置し、ニーズや状況に応じた支援で人材確保と人材定着をサポートします。



各企業の担当者による研修

6 産業振興

企業活動の活性化・新規産業の創出

台日産業連携推進オフィス（TJPO）と連携し、本市と台湾双方の企業による産業連携などを推進します。



昨年、ビジネスセミナーを開催

6 産業振興

農業の振興

スマート農業加速化実証プロジェクトを通じて、さらなる農業のスマート化を目指し、より高収益で強靱な農業経営を推進します。



スマート農業の実証

5 教育文化

学校教育の充実

GIGAスクール構想を着実に推進するため、児童生徒一人へタブレット端末1台配布し情報活用能力の育成や、学習環境の整備を進めます。



徳田小学校での授業の様子

3 都市基盤

公園・緑地の整備

スポーツや憩いの場として活用し、災害時の指定緊急避難場所を含めた防災拠点とするため「東部公園」の完成に向けて整備を進めます。



東部公園の完成イメージ

- ▼住民票などのコンビニ交付、電子申請の導入を検討
- ▼定型的な窓口サービスのワンストップ化を図る総合窓口方式の導入に向けた検討を開始
- ▼住民生活とデジタルとの融合による住民福祉の増進と行政サービスの効率化の双方の実現を計画
- ▼将来的な財政負担の軽減を図るため、今後一層の公共施設の適正配置や有効活用を推進
- ▼政府が推進するDX（デジタルトランスフォーメーション）で、市民生活とデジタルとの融合による住民福祉の増進と行政サービスの効率化の双方の実現を計画

- ▼西条市ふるさとづくり基金や、西条市版SIBの仕組みを活用し、地域活性化に取り組む事業および団体を引き続き支援
- ▼「移住・定住施策」に全力を傾注し、戦略的なプロモーションによる効果的な情報発信を実施

- ▼林業への興味や関心を高めるため市内小学校で森林学習を実施
- ▼産業情報支援センターの移転を視野に入れ、コーディネーターなどによる新たな経営支援体制を構築
- ▼コロナの影響で令和2年度は開催できなかった「えひめさんさん物語フォロアアップ事業」を実施

- ▼飯岡小学校・神拝小学校北校舎、丹原小学校校舎に加え、新たに大町小学校南校舎の整備に着手
- ▼「豊かな心を育む教育文化のまちづくり」
- ▼「活力あふれる産業振興のまちづくり」
- ▼農業従事者の高齢化と後継者不足に伴う耕作放棄地の解消などを目的に、「引き続き「ほ場整備事業」による基盤整備を実施

- ▼「災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり」
- ▼災害時の初期対応に必要な食料、水などの災害用備蓄品を整備
- ▼各種災害などに迅速に対応できるように、令和2年度から着手している楠河分団蔵置所の整備を推進

- ▼「喜多川朔日市線Ⅱ工区」を整備
- ▼西条市地域公共交通網形成計画を基に、既存の公共交通体系の活性化および再編を計画
- ▼中心市街地を東西に結ぶ幹線道路「喜多川朔日市線Ⅱ工区」を整備

- ▼「快適な都市基盤のまちづくり」
- ▼西条市国土強靱化地域計画を基に引き続き対象となる橋りょうなどの耐震化を推進